

## 1979.4.20 たいまつ16年より

- ・ 抵抗せよ、反逆せよ。自分のオヤジやオフクロでがまんするな。世界中のオトナに反逆せよ。つき破れ、障子なんてなさないものはやめておけ。鉄壁をもぶちぬくほど、たくましいキンタマをきたえあげろ。
- ・ 未来への歩みの停滞……農地解放により
- ・ きみは、社会党とも共産党とも協力するが、又工的ではないか
- ・ 自民党とだって協力したい。独立の日本、民主の日本、平和の日本ということて一致するなら、悪魔とだって手を握る。むろん悪魔はそんな殊勝なものではないだろうが、基本の三原則で一致するなら、ほかのことではどんなにちがっていても、ゆたかな気持ちで誰とでも手を握りたい。
- ・ 日本人は小さなレッテルで他人を分類し取捨する性癖があって……
- ・ 共産党はイデオロギーに立つ政治行動体だ。アカが嫌いなら、本気で嫌いなら、それ以上のイデオロギーを創造し、それ以上の政治行動を実践することだ。
- ・ 大衆のたいまつにじかに触れ、大衆のたましいをゆすぶる生き生きした運動をどうしたら実行できるか　これが本当に考えねばならぬ課題ではなからうか。
- ・ 最大の誠意を最大公約数のためにささげる、これが大衆運動の《統一》を成立させる土台である。

## 1979.7.6 原稿の書き方より

- ・ 「自分の考えをもつ」というのは、主体性をもつということ
  - 1 センテンスをできるだけ短く
  - 2 主語・述語をはっきり
  - 3 修飾語をなるべく使わない
- ・ 言葉の感覚をみがけ（本を読むこと）
- ・ 紙数が足りないと思ったら、初めに結論を
- ・ 文章は想像力から生まれる

## 1979.7 何を信じて生きるかより

- ・ 欲望を自らコントロールできる強い主体になれ
- ・ 70年代の繁栄の中で（見せかけの）「変わりもの」がいなくなってしまったこと
- ・ 欲望を想像力へと集中的に生かすことである。
- ・ 一つのことに自己の人生をかける生き方は、必然的に世間の常識をはみ出すところが出て来るものである。
- ・ 老いることは成熟の達成
- ・ 老いても強い情熱を

#### 1979.7 人びとはみな同行者より

- ・ 自分の言葉とちがう成り立ちと構造をもった外国語を学ぶということは、自分の発想の長所短所を知ることでもある。
- ・ 生命がけの発想が、日本の英語教育にはない
- ・ 動詞でものを考えだすとその人間は動く
- ・ 必要なことだけを必死にしゃべる
- ・ 例えば、英語をマスターするのに一番理想的な方法は、生徒をみんな教師にしてしまうことだ。
- ・ 人の作った価値観に自分をあわせるよりも、自分独自の価値観 自分の秀れているところ、得意な部分から組み立てて 価値観を作り出して、生きてゆくほうがずっとおもしろいし、はりあいがある。
- ・ 人をも自分をも決して責めない

#### 1979.7.12 聴覚の世界より

- ・ 五感・・・視、聴、嗅、味、触
- ・ 「神が一つだけ復活の恵みを与えてやるといわれたら何を望みますか」・・・ためらわず聴覚を。
- ・ 人間の五感のうち聴覚が人間らしい生活に最も大事である
- ・ 聾・・・思考は直感的であり、行動は衝動的になりやすい
- ・ 盲・・・思考言語の発達が良い
- ・ 一般に女兒は男児より言語発達が早い。同時通訳は女性が上手
- ・ (ろう児は)注意の集中が一般に劣る。その結果、興奮しやすく、協調性に欠き、対人関係が円滑にいかない。
- ・ 記銘力が劣る
- ・ モーゼの立法・・・ろうあ者は悪霊にとりつかれたものであり治らない
- ・ アリストテレス・・・ろうは唾である。半ば動物的待遇
- ・ 一茶 「しぐるるや 親椀たたく 唾乞食」

#### 1979.9.4 英語のでこぼこ道より

- ・ 言語を身につける重要な一つの面は、その言葉の経験時間数である
- ・ 不用意にクスクス笑うような相手に、間違いを直してもらわないように注意することが大切。
- ・ 英語学習は耐える事(手話も・・・)
- ・ 子供の場合長期間に習得、けれど大人の場合は短期で憶えようとするから問題が。
- ・ 忍耐力、努力

- ・ 理想的には英語を勉強するには、英国か米国に住み、集中的に習得すべきである。
- ・ そんな事できないので、あらゆる機会をとらえ、直接法により勉強する努力をしなければならぬ。
- ・ だから英語はできるだけ直接英語世界の意味として知る必要がある。
- ・ 日本の環境を背景にしたネコを連想して勝手な判断をしないように注意すべきだろう。
- ・ 英語の勉強をする時、言葉の勉強だけ集中しているかもしれない。しかし、言葉と社会は切っても切り離せない関係にあり、言語即人間社会と考えなければならない。(手話とR者社会、日本語とK者社会)
- ・ 英語国民と毎日つきあっている、自分から積極的に質問したり、よほどよく観察していないと、会話の内容のなかの習慣までを十分知ることはできない。
- ・ 社会のタブー、外国で年齢を聞くこと。
- ・ 英語を上手に話したいと思って文法や発音を一生けん命勉強しても、結局、英語国民とつきあっていくことはできない。

#### CLL方式

- ・ 先生が定まった教科書に従って生徒を教えるのではなく、最初から生徒の話したいことを話させるという点にあると思う。自分でいいたいことを外国語で習うと、その教育の深度は、教師から一方的に強制される文章の暗記よりはるかに深い。
- ・ いずれの場合でも、その目的達成の学習過程に興味をもてば、それだけ学習の深度が深く、効果が大きい。文法でも教え方が無味乾燥であったら、どんなに学習的に優れた文法論でも教育効果はほとんどないだろう。また理解力に合う説明も、興味を引き起こす重要な面であろう。そういう根本的条件を、ここに述べたいいろいろな方法は備えていると思う。
- ・ 無数といえるほど複雑な要素がからみ合って一人の人間の生き方を決定している。
- ・ 一般の英会話の文章の構造や表現形式も、日本語の直訳が通用しないことはよく知られている。それぞれの意見を表現する方法が日本語と英語とは別々にあるのである。  

goodmorning	=	おはよう
良い朝	NO	早いですね
- ・ よく困る日本語は「よろしく願います」
- ・ 英語であろうと日本語であろうと、単語というものは一つだけ独立した形で、その意味をとらえることはなかなかむづかしい。「結構」という単語が拒む意味に用いられているか、賛成ないしは受諾の意味なのか、その単語の前後に用いられる一連の他の単語によってその意味が決定される。ご苦労様、苦手など無数に同様の問題を持っている。

1979.12.15 莊子より 33才 (日誌に30代にふさわしい思想にめぐりあうとあり)

- ・ 人間が泥鰌(ドジョウ)より価値ありとされる根拠は一体なんなのか、美は何故に価値であり醜は何故に反価値でありうるのか。
- ・ ヨーロッパ人の思考は分析的、中国人の思考は論理的、直観的・体験的である